

スペインの沈黙

堀田善衛



スペインの沈黙

堀田善衛



筑摩書房

スペインの沈黙

一九七九年六月二〇日 初版第一刷発行

著 者 堀田善衛

発行者 関根栄郷

発行所 株式会社筑摩書房

東京都千代田区神田小川町二一八

振替・東京六十四一二三 郵便番号・一〇一―一九二

TEL 二九一・七六五一 (営業) 二九四・六七二一 (編集)

印刷・三松堂印刷 製本・和田製本

装画・島 眞一 装幀・中島かほる

スペインの沈黙

目次

なぜゴヤか？ 3

スペイン便り 37

牛の鈴鈍く革命は進む 39

ラ・バンデラ・ローハ！
（赤旗の歌） 44

ピカソとリンカーン旅団 50

教会・憲法・軍隊 55

いわゆる王侯貴族なるものについて 60

グラナダの夏 66

樅の木の下の民主主義に栄えあれ！ 72

グラナダ暮し 79

ゴヤと怪物 81

ゴヤの墓 87

スペインの沈黙 94

「戦争の惨禍」について 99

スペイン・四度目のゴヤの旅 103

フランコ、頑張れ 112

グラナダの冬 118

アンダルシア大巡礼 124

グラナダ暮し 149

マドリードにて 156

歴史について 163

芸術家の運命について 165

世界・世の中・世間 174

歴史について 184

あとがき 200

初出一覧 202

スペインの沈黙

インタビュー

なぜゴヤか？

なぜゴヤか？

北国の港町に生まれて

——スペインへは五月にご出発ですか。

堀田 五月に船で出ようと思っています。

——船で？

堀田 その船というのが、いま驚いたことにポーランドの貨客船しかない。客船もない、西の方へはね。みんなアメリカへ行っちゃうんですね。変なことになったもんだな、実際。

——回船問屋の息子さんとしては切歯扼腕ですね。どういう商売なんですか、回船問屋というのは。

堀田 徳川時代は北前船きたまえせんといましてね、うちの場合は越中伏木港（富山県高岡市）ですけど、そこから米と酒、雑穀といったものを北海道へ運び、向うからコンブ、肥料用のニシン、それからカズノコ、まあ、ニシンといえれば従ってカズノコということになるけどね。そういうものを堺あ

るいは大阪へ持つて行くんですね。

ですから、関西料理というものは、つまりコンブのダシを基礎にした料理ですわね。その関西料理というものは、結局は北前船がつくったものなんですね。だから、関西料理の歴史もせいぜい二〇〇年か二五〇年程度のものでしょう。そんなに古いものじゃない。

商売そのものについていえば、これはめっちゃくちゃに儲かるんだ。無事に着けばの話だけど、千石船一船でもつて、今の金にして五億円か一〇億円、もつとなったんじゃないでしょうかね。

——田中角榮がふたり買える。

堀田 だから、京都なんかへ行つて、古道具屋一軒、店ごと買ってきたりね。そういう馬鹿馬鹿しい儲け方つてものが、資本主義時代になると、できないわけですね。国家と結びつかないとやっていけない。岩崎(三菱)汽船とか、三井汽船とか、ね。その他の中小の、昔々からの船舶業というものは、明治に入つて日清戦争の頃からそろそろだめになっちゃうんじゃないでしょうかね。——でも、一九一八年生まれの堀田さんが物心つく頃まで、その栄華の名残りみたいなものはあつたわけですね。

堀田 まあ、庭に丹頂鶴の番^{つが}いが放されていたり、イギリスやソビエトの船のオフィサーが遊びに来ていたり、といったことはありました。ですから私は、幼年時代から共產主義というものは恐ろしいものであるなんてことは、ソビエトの船乗りたちが遊んでいるのを見ていて、どうてい

なぜゴヤか？

信じがたいことであると思っていましたね。

——ゴヤのことを「アンクル・ゴヤ」と隣のおっさんみたいに呼ぶ感覚も、遠くはその辺から？

堀田　そうかもしれないですね。北国の小さな港町ですけど、外国人が日常町をうろろ、ぶらぶら、葉屋へ頭突っ込んだり、八百屋でリンゴ買ったりしている。外国人といったって、八百屋でリンゴ買ったりしてんだから何てことはないという……。

芸能的雰囲気の中で

——物書きが生まれるような文人的雰囲気はお宅にあったんですか。

堀田　むしろ芸能的雰囲気でしょうね。たとえば旅の能楽師とか、ふすま絵を描く絵師、それから落語を語る人、そういう旅芸人というものは、だいたい地方の素封家を頼って旅して歩くわけでしょう。芭蕉だってそういう旅芸人のひとりですよ。うちの離れにもそういう人たちが半年でも一年でもいたようです。そのうち女中さんと仲よくなって一緒に出て行ったりね。

——淫蕩的雰囲気も欠けてはいなかった。中学時代、音楽家を志望なさったというのは、そういう芸能的雰囲気と関係ありますか。

堀田　だろうと思いますね。それともうひとつは、ぼくは中学は金沢へ移りましたからね。金沢

に楽器店をやっている叔父さんがいましてね、そこに下宿してましたから、そういう影響だと思うんですよ。私は、バイオリンを除く大抵の楽器は、何とか操りますよ。バイオリンはいかんね、あんなギーギー、コーコーいう音は。

——ピアノはかなり本格的に？

堀田 割合やりましたね。今はあんまりやりませんけどね。なにぶんピアノを二階に上げちゃったもんだからね。ぼくは、二階って、上がるのめんどくさいから行かない。ギターはときどき弾くね。それは、大学へ入って東京で下宿するようにしましてね、身辺に何もなし、メロディだけじゃなく、コードというか、ハーモニーの弾けるものが欲しい。ギターなら手軽にハーモニーが出ますからね。

——下宿でギターというのは、今のヤングの先取りですね。大学時代、旅行のレビュー団でバンドのアルバイトをしたというのは、芸が身を助けたわけでしょうけど、戦争中のこととは思えませんか。

堀田 非常楽しかったね。ぼくの『若き日の詩人たちの肖像』を読んで、安岡（章太郎）なんか怒っちゃってるのね。つまり、うらやましくてさ。やつは、落第ばかりして、シヨボシヨボしてただろう。ぼくが何ということなしにスーッと旅のレビュー団に入ったりするものだからね。

——川端康成だって、踊り子のあとをくっついて歩いただけですからね。

堀田 村や町に着くと、興行主というのはだいたいやくざですよね。それが、あの踊り子をひと晩抱かせろ、なんてことを言い出す。それをあきらめさせるのがぼくの仕事でした。小学生のころ、ぼくち打ちが賭場を開くとき、ぼくのおやじのところへあいさつに来るのを見てましたから、そういう者を扱う術は、ぼくは多少心得ていましたからね。高飛車に出ればいいんですよ。おやじなんか、玄関に突っ立ったまま、「素人衆に迷惑かけるでないぞ」なんて、どなっていましたからね。

——堀田さんの役どころは、若旦那くずれの与三郎ですね。踊りさんがほっておかない。で、音楽家志望はどうになりました。

堀田 大学に入って急速に左翼化しましたからね。

——レビュー団の軟派学生とマルクシズムは、あまり結びつきませんね。

堀田 ぼくのは英語のマルクシズムだからね。日本語だとやたら難解なマルクス主義用語も、英語ではふつうの日常語ですから。

——観念的なマルクスボーイにならずにすんだ。英語は、中学時代、楽器屋さんのあとでアメリカ人宣教師の家に預けられてマスターしたわけですね。

堀田 ポブという坊やがいてね、これが典型的なアメリカのワルガキで、犬を殺したり、ろくなことをしない。ぼくはそれに英語を教える家庭教師になった。

——アメリカ人に英語を？

堀田　だって北陸弁でもって暴れ回っているわけだ。お母さんは病気がちだしね。ヒステリーの発作がすごい。ほとんど素っ裸で仁王立ちになって、グランドピアノを引っくり返しちゃったことがある。ストリップと女相撲土俵入りを一緒にしたようなものだった。まあ、女というものは動物であるという認識を、あの辺から得たかもしれません。

ぼくはボブに、英語で算術から修身まで教えた。あんまり暴れるからね。「ユー・マスト・リスペクト・ユア・ファザー」。だから、太平洋戦争が始まったとき、おれも戦争に引っぱり出されるだろうけど、ボブのやつがおれの鉄砲の前に出て来たらどうしようって、それがいちばんいやだったね。

——大学は慶応の政治学科から仏文に転科される。政治学科はお父さんの意志ですか。

堀田　そうかもしれない。おそらく政治学をやって代議士にでもなれてことだったんじゃないですか。おやじは戦時中、富山県の県会議長なんかしていて、松村謙三という自民党の代議士さんがいましたが、この人はぼくの家のプロテジェ（被後援者）だったわけじゃないでしょうか。それから読売新聞の正力松太郎、あれもうちの書生さんとはいわないけど、若い頃色々と後援していたらしい。だから、代議士に出る気なら、それほどむずかしくはなかったでしょう。そうすれば今ごろは環境庁長官ぐらいですよ。

なぜゴヤか？

——文化庁長官で「ゴヤ展」を呼んだりして。今からでも遅くないと思うんですが、その気はありませんか。

堀田 おやじも慶応で小泉信三と同級だったんですが、戦争中、大げんかしたらしい。おやじが怒ったのは、小泉信三は日本の有識者の中でもアメリカの実力を最もよく知っているはずだ、そういう人間が、人民が焼け出されてもまだまだアメリカに勝てるなんてバカなことを言うとは何事であるか、ということだったようです。小泉さんはものすごい好戦派ですからね。内閣参与というようなものになると、ああなるんじゃないですか。

今の文士諸君でも、福田内閣と親しかったりする人がいるようですけど、文士というものは、それだけはやっちゃいかん。そりゃ、何をやっても構わんです。女郎屋経営したっていいけどね、内閣参与とか、文部省の審議会に入るといいう程度でも、権力と手をつなぐことだけはしちゃいかんと思いますね。しないという、消極的なモラルですから、守りやすいと思うんですけどね。

焼け跡共和国の夢

——昭和一七年に大学を卒業されて、就職先が、外務省の外郭団体の国際文化振興会、それから海軍軍令部の……

堀田 軍令部臨時欧州戦争情報調査部という、長い長い名前のところ。どっちみち、じきに召集